

2023年度（令和5年度）
教育研究審議会（第10回）議事録

1 日 時 2024年（令和6年）2月28日（水）

13時10分～14時00分

2 場 所 管理棟2階 22・23会議室

3 出席者 委員10人，監事1人

佐藤利行学長，伊澤幸洋副学長，向井厚志副学長，清原昭子附属図書館長，
今中博章教育学部長，渡邊一成都市経営学部長，正保正恵教授，
渋谷清教授，岡辺重雄教授，渡部廉弘事務局長，
神原宏尚監事

欠席者 澤田結基教授，渡邊雅史監事

陪席者 甲斐経営企画課長，真田総務課長，安原学務課長，栞原総務課課長補佐，
唐川経営企画課次長，石山総務課主事

構成員の過半数の出席により成立した。

（公立大学法人福山市立大学定款第23条第3項）

4 成立要件 構成員11人 定足数6人

審議に先立ち，前回の議事録の確認が行われた。

5 議 題

審議事項

（1）（仮称）地域連携センターに係る準備組織の進め方について

資料1

副学長（企画・研究）から，資料に基づき説明があり質疑応答の上，原案どおり承認された。

委員間で次のような意見交換がなされた。

- ・今年度，様々な企業や海外の大学と協定を結んできたが，地域連携センターや国際交流センターをできるだけ早く整備し，稼働させたい。
- ・協定先のひとつであるタイのランシット大学からは留学の希望が出ている。また市内の企業にはタイに工場や営業所を有しているところも多く，大学をハブにした産学連携を要望する声も多い。
- ・国際交流センター新設にあたり，海外からの留学生の身元保証について整理してほしい。
- ・協定先からの受け入れは，学生だけでなく研究者も対象としたい。
- ・地域連携センターや国際交流センター新設にあたり，附属施設に位置付けるかどうか，組織上の整理が必要となる。併せて，諸規程の改正等の整理も必要となる。

(2) 日本学生支援機構奨学金返還免除候補者選考委員会規程の改正について 資料2
事務局より、資料に基づき説明があり、質疑応答の上、原案どおり承認された。

(3) 名誉教授の選考について 資料3

両学部長から、資料に基づき説明があり、質疑応答の上、原案どおり承認された。別途、業績等を記した資料を学長に提出することとなった。また、例年5月に開催している名誉教授称号授与式を3月中に実施することとなった。

報告事項

(1) ソルボンヌ大学（フランス）等との3者間産学連携協定に関する意向書の締結について 資料4

副学長（企画・研究）から、資料に基づき報告がなされた。連携協力の内容詳細においては、今後協議を進めていくことが確認された。学長から、来週渡仏して協定を結ぶ予定であることが報告された。

(2) パリ・エスト・クレティユ大学との協定更新について 資料5

副学長（企画・研究）から、資料に基づき報告がなされた。協定更新にあたっては、前回の協定内容と同等であることが確認された。

(3) マレーシアイスラム科学大学（マレーシア）等との4者間産学連携協定に関する意向書の締結について 資料6

副学長（企画・研究）から、資料に基づき報告がなされた。連携協力の内容詳細においては、今後協議を進めていくことが確認された。

(4) 令和6年度大学院入学者選抜（第2回）の実施状況について 資料7

事務局より、資料に基づき報告がなされた。

(5) 令和6年度一般選抜（前期日程）の実施状況について 資料8

事務局より、資料に基づき報告がなされた。

(6) 令和6年度社会人入試、私費外国人留学生選抜の実施状況について 資料9

事務局より、資料に基づき報告がなされた。

以 上